



がんの治療前に口のケアや歯科治療を行うことを「周術期口腔(こうくう)機能管理」といいます。これは医科と連携して取り組むものです。全身麻酔を必要

菌がすみついています。手術などの治療で体力が消耗した場合、普段は活動しない細菌が繁殖し、合併症を引き起こす可能性があります。また、口腔内が不潔だ

(ごえん)性肺炎を予防し、口の炎症などが悪化するのを防ぐことが近年分かってきました。全身麻酔の際には、人工呼吸器のチューブが前歯を

も、入院前に治療を受けるべき理由の一つです。また、がん治療を乗り切るためには健康な口でしっかり食べ、体力を維持することがとても大切になります。

## がん治療前の歯科医療

【問い】母ががんの手術を受けることになりました。主治医から入院する前に歯科治療を受けるように言われましたが、なぜ歯科と関係あるのですか。

(諫早市、50歳女性)

【答え】日本人の男性の2人に1人、女性の3人に1人はがんにかかると言われており、がんはひとことではない、身近な病気といえます。

とする外科手術、放射線療法、化学療法などによって引き起こされる、口内炎や口腔乾燥、免疫力の低下などの口の中のトラブルが、がん治療そのものを遅らせたり、中断させたりする問題を解決し、回復を助けることを目標としています。口の中には数百種類の細

と細菌が気管に入り、肺炎の原因になることもありま。細菌が血液に入ると、敗血症などの重篤な感染症になる可能性もあります。術前、術後の口のケアがこうした術後合併症や誤嚥

をしても治りが悪いこと

## 清潔保ち合併症を防ぐ

「がん治療の開始2週間前までに歯科を受診すること」「がん治療中も継続して口腔内を清潔で良好な環境に維持するよう努めること」が求められます。県歯科医師会会員の歯科医師は「周術期口腔機能管理」の研究を十分重ねています。安心してかかりつけの歯科医院に相談してください。(県歯科医師会医療情報委員会)

### 質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。